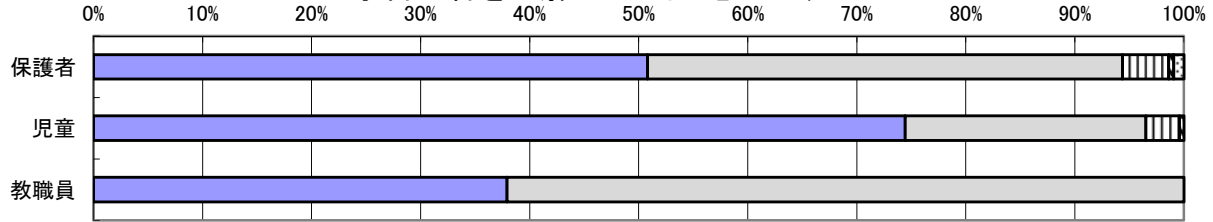


# 令和元年度 学校報告会資料

## 1の柱「確かな力を育む」

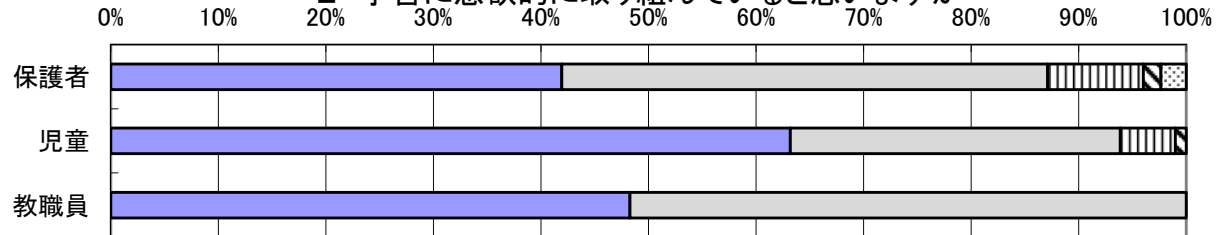
□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない □ わからない

### 1 学習内容を理解していると思いますか



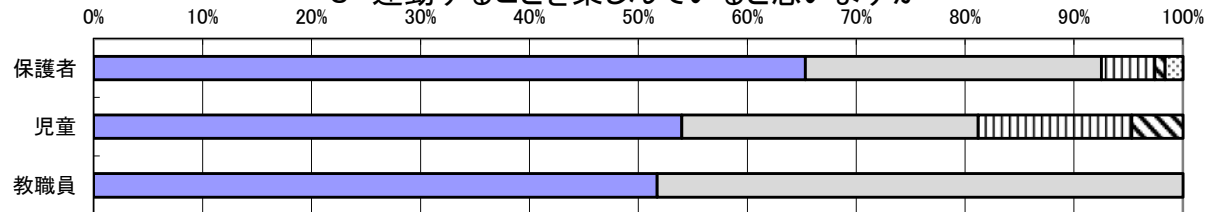
- ・アンケートの結果から、達成感をもって取り組んでいる子が多いことが伺えた。担任の他にも少人数・学習支援担当・児童支援コーディネーター等の複数の教員による学習支援をすることで、個に応じた指導を進めた。また、個々の学びをノートや発言、行動などから丁寧に評価してきた。そうすることで、普段の学習や宿題などに熱心に取り組む児童の姿が見られた。また、そこで見られた個々の課題を保護者と共有し、家庭と連携を図りながら、基礎・基本の定着に取り組んでいきたい。
- ・課題に対して自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習といった学習形態で、多様なものの見方・考え方を共有し、深めあうことができた。また、自分の思いや考えを文章に書き表したり、発表したりすることで伝える力を高めた。
- ・今後は、学習に対しての見通しをもって、一人一人が課題に対して粘り強く取り組み、基礎・基本をしっかり定着し、既習を生かした学習活動の展開を図りたい。

### 2 学習に意欲的に取り組んでいると思いますか



- ・学習に意欲的に取り組んでいる児童が多い。昨年度同様、生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の「ひと・もの・こと」の材を開発し、他教科との関わりも意識しながら児童の興味・関心を大切に授業作りをしてきた。身近な課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の繰り返しによる探究活動をしていくことで、次第に自分の生活に生かしていこうとする主体的な姿が見られるようになった。また、課題解決する際に、友達と協力して課題に向かおうとする協働の姿が見られるようになった。
- ・今後は、生活科・総合的な学習で培った思考力・判断力・表現力等を生かして、他教科との関連を図りながら身につけていきたい資質・能力を高めていけるようにしたい。

### 3 運動することを楽しんでいると思いますか

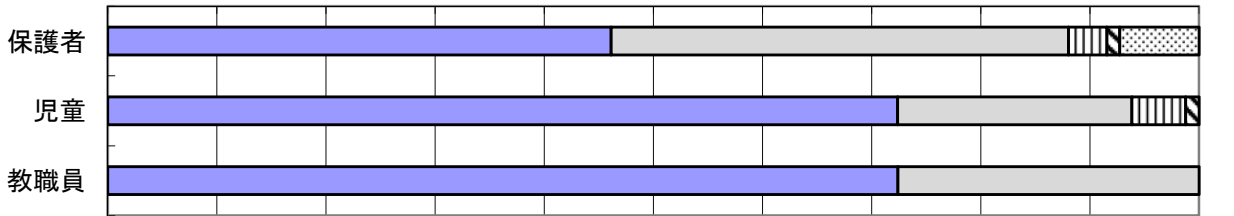


- ・児童の体力向上を目指し、栄養士による食育の授業から健康について考えながら、年間を通してキラキラタイムを設け、長縄8の字跳びと、マラソンを2本の柱として取り組んだ。また、どのクラスにもボールの他にドッジビーを配り、中休み等の遊びの幅を広げることができた。8の字跳びは、他クラスとの記録を競うものではなく、クラスの中で記録を伸ばすようにして、定期的に記録会を設け、それに向けてクラスで一丸となって取り組むことができた。マラソンカードも、日本1周できるようなカードを用意し、1周することを励みに中休みにマラソンに取り組む姿も見られた。
- ・今後も、児童が楽しみながら体力向上につながる活動を推進していきたい。

## 2の柱「豊かな心を育む」

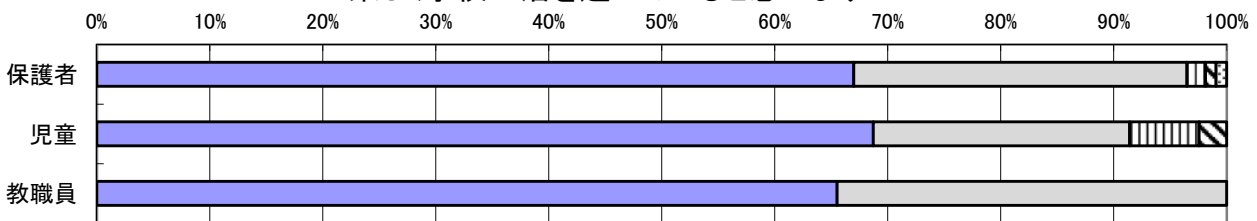
□ 思う □ どちらかといえば思う □ どちらかといえば思わない □ 思わない □ わからない

4 個に応じた支援が効果的に行われていると思いますか



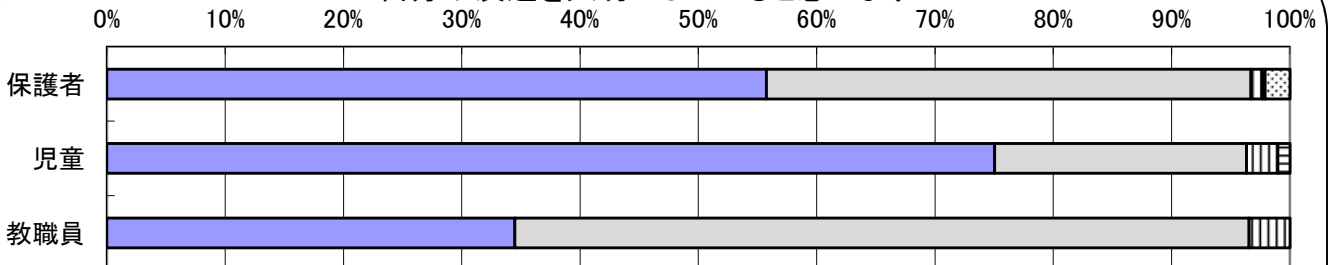
・学校生活全般で、困った時に先生が助けてくれると回答した児童の数値が高い。日々児童と接している担任が児童の困り感を察知し、全教職員へ共通理解を図ってきたことが効果的であった。よりよい友達との関係づくりの手助けや登校支援に学年、児童支援Co、養護教諭、教務主任、管理職など、教職員一丸となって取り組んできた。保護者の方の回答も「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、88%と高く、学校の支援体制に理解を示して頂いている。引き続き、相談しやすい雰囲気作りに努め、相談窓口を周知していきたい。

5 楽しく学校生活を送っていると思いますか



・なかよし班活動など様々な活動を通して異学年と触れ合い、より良い人間関係作りに努めてきた。児童会活動では、「ふみだそう一歩 広げよう感動」のスローガン実現を目指し、マスコットキャラクター作りや、1クラス1マイル活動に取り組み、誰もが楽しく過ごせる学校作りを目指したことにより、児童も92%が楽しく学校生活を送っていると回答した。保護者の方からも、高い数値で子どもは楽しく学校生活を送っていると思うと回答を頂いた。  
・不安感を抱いている児童を把握するために学校生活に関するアンケートをとり、個別で面談したり、学級で話し合ったりして、不安を取り除けるよう取り組んだ。今後も児童一人一人が安心して学校生活を送れるように見守り支援していきたい。

6 自分や友達を大切にしていると思いますか

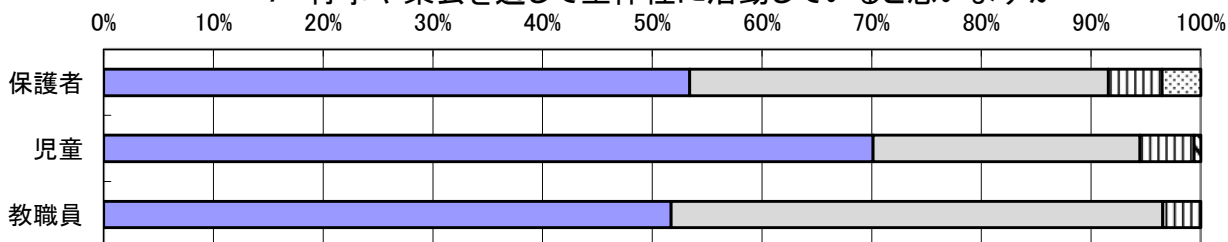


・かわさき共生 \* 共育プログラムや道徳の時間を通して、心の育成に努めた結果96%の児童が友達を大切にしていると回答した。しかし、学校生活の中での友達とのトラブル、日々の言動から、自己肯定感が育っていないと感じられる場面もあるので、今後も成功体験を積み、自己肯定感を高めていけるよう支援していきたい。

### 3の柱「主体性を育む」

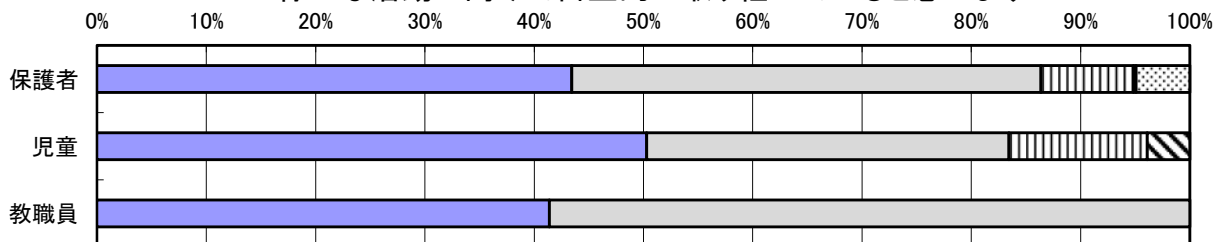
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない □ わからない

#### 7 行事や集会を通して主体性に活動していると思いますか



- ・学校のスローガンを決めたことで、みんなで同じ目標に向けて努力することができた。運動会や各学年の行事などでも、スローガン実現に向けて進んで取り組んだことで、90%以上の児童が「行事や集会を通して主体的に活動している」と回答している。
- ・係活動、実行委員活動、委員会活動を通して、一人一人の児童に力を発揮する機会を作り、主体性を育ててきた。各委員会活動では、常時活動に加えてオリジナルの活動を考えて実行することで達成感をもつことができた。また、今年から計画委員会が中心となって集会を運営することで、各委員会や学級が進んで全校に発表する機会が増えた。

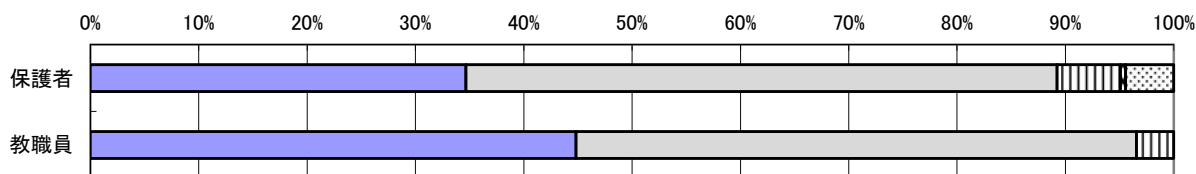
#### 8 様々な活動に向けて自主的に取り組んでいると思いますか



- ・なかよし班活動では、高学年が主体的に計画を立てたり下級生に声をかけたりとそれぞれが見通しをもって取り組めるように工夫していた。かわりを通して下級生をリードする力が育っている。下級生の時に上級生にしてもらった体験が上級生になって下級生をリードする場面で生かされている。また、なかよし班活動以外でも各ペアでの交流が増えている。
- ・1クラススマイル活動や住小ピカピカクエストなどを通して、児童が学校のためにできることを考え自主的に活動する力が育まれてきた。
- ・あいさつを進んで行う学校を目指して、児童が中心となってあいさつ運動のやり方を考えるようにした結果、80%以上の児童が「主体的に活動している」と回答している。しかし、まだ意識が低い児童もいるので、今後もあいさつの活性化を図っていきたい。

### 4の柱「安心安全・地域とともに歩む学校」

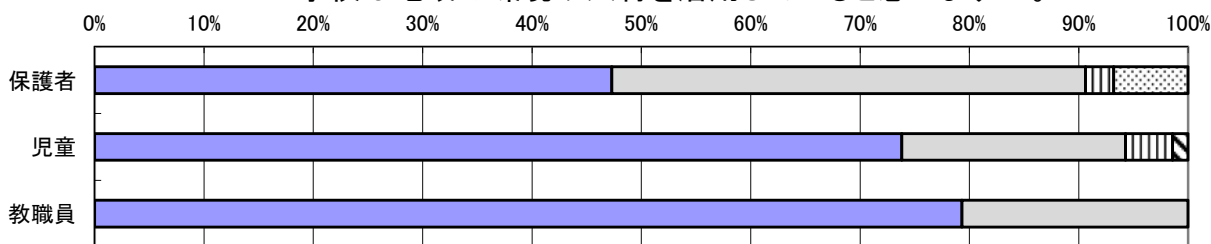
#### 9 学校には話しやすく相談しやすい雰囲気があると思いますか。



- ・教職員が地域の方や来校者への挨拶や声掛けを心がけ、懇談会や教育相談だけではなく、普段から気軽に話せる雰囲気作りに努めた。90%近くの保護者から「学校には話しやすい雰囲気がある」との回答を頂いた。今後も教職員から積極的に挨拶をするなどして、さらに話しやすいと思ってもらえる学校を目指したい。
- ・学校ボランティアの方々には、図書室の整理、読み聞かせ、クラブ活動の補助などの支援をして頂いた。引き続き、保護者のみなさまのお力をお借りしながら、教育活動の充実を図っていきたい。

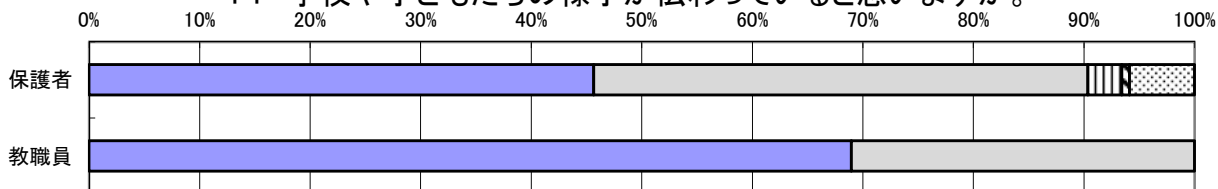
□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない □ わからない

### 10 学校は地域の環境や人材を活用していると思いますか。



・生活科や総合的な学習の時間、社会科の学習を中心に、地域の特色を生かした教育活動を展開することができた。保護者や地域の方々がとても協力的で、学校教育に理解を頂き、受け入れてもらえる環境があることに感謝したい。児童のアンケート結果からも、地域との関わりを楽しみ、満足していることが分かる。楽しいだけでなく、さらに深い学びに繋がられるよう、今後も児童が地域との関わりを大切にできるような授業を展開していきたい。

### 11 学校や子どもたちの様子が伝わっていると思いますか。



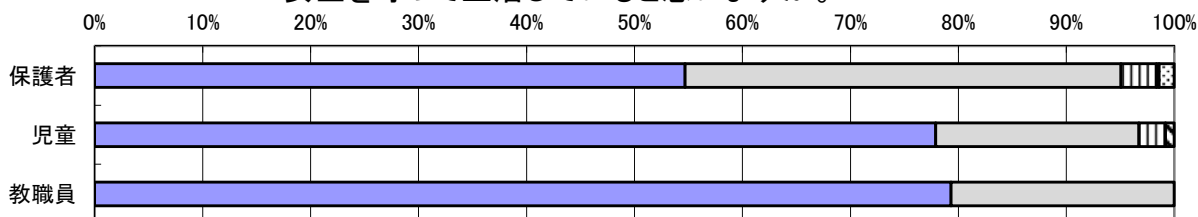
- ・授業参観やオープンスクール、音楽集会など、参観できる機会を多くつくった。今後も、時期や目的を考慮しながら公開する教科を選定し、より一層の充実を図ってきたい。
- ・懇談会や学校説明会、お便りで学校の様子を伝えるように努めた。ホームページの更新も定期的に行っており、多くの家庭から「HPを閲覧したことがある」という回答を頂いた。さらに学校への理解を深めていってもらうために、QRコードを学校だよりに入れていくなど、多くの保護者が手軽にHPを閲覧できるような工夫をしていく。



住吉小ホームページ

【住吉小学校ホームページ <http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke204301>】

### 12 安全を守って生活していると思いますか。



- ・様々な想定で避難訓練を行うことで災害時に「自分の身は自分で守る」という意識が少しずつ高まってきており、95%の児童が安全に気をつけていると答えた。教職員は、常に危機管理意識をもつことが望ましいと感じているので、今後も継続的な学習の機会を設定し、意識を高めていきたい。
- ・今年度も防犯教室(2年)、非行防止教室(4年)、交通安全教室(1・3年)、スマホ・ケータイ安全教室(5年)、薬物乱用防止教室(6年)の内容で「自分の身を守る」ための学習を各学年で行った。継続して学習することでこれからも危機管理意識を育てていきたい。
- ・年度当初に「みんなのやくそく」を配付し、生活や遊びのきまりについて共通理解できるようにした。きまりが浸透してきているので、児童が落ち着いて安全に学校生活を送ることができるように、今後も様子を見守っていく。